

生誕100年 富岡惣一郎

白に染まる

■会期=2月4日(土)~3月26日(日) ■会場=市美術館 (☎027-324-6125)

市美術館は、新潟県上越市出身の画家・富岡惣一郎の生誕100年を記念した企画展を開催します。

雪国生まれの富岡は、白に魅せられ、自ら「トミオカホワイト」と名付けた白の油絵の具を開発しました。これを独自の道具と技法でキャンバスに塗ってから削るという特徴的な方法で、故郷の雪景色などを大胆かつ繊細に表現。晩年にはヘリコプターなどによる取材を行い、上空から見た景色を描いています。

本展では、南魚沼市トミオカホワイト美術館の所蔵作品から、代表作45点を展示。また、富岡と同じく白と黒で風景を捉える版画家・中村眞美子さんの特集展示も同時開催します。

美術館案内

●時間=午前10時~午後6時(金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで) ●休館日=月曜日、2月24日(金)・3月22日(水) ●観覧料=一般600円、高・大学生=300円、65歳以上と中学生以下は無料

関連事業

いずれも、費用は無料(観覧料は別途)です。
申し込みは、1月17日(火)午前10時から、電話で市美術館へ。

学芸員によるギャラリートーク

●日時=2月18日・3月4日・18日の土曜日、午後2時 ●会場=市美術館 ●定員=各回先着15人
俳句 in ミュージアム「空と大地を呼吸する句会」

●日時=3月11日(土)午後1時~5時 ●会場=南公民館 ●内容=講師の指導を受けた後、美術館内の作品を鑑賞しながら俳句を詠む ●定員=先着15人
アーティストトーク「“出会う”風景」

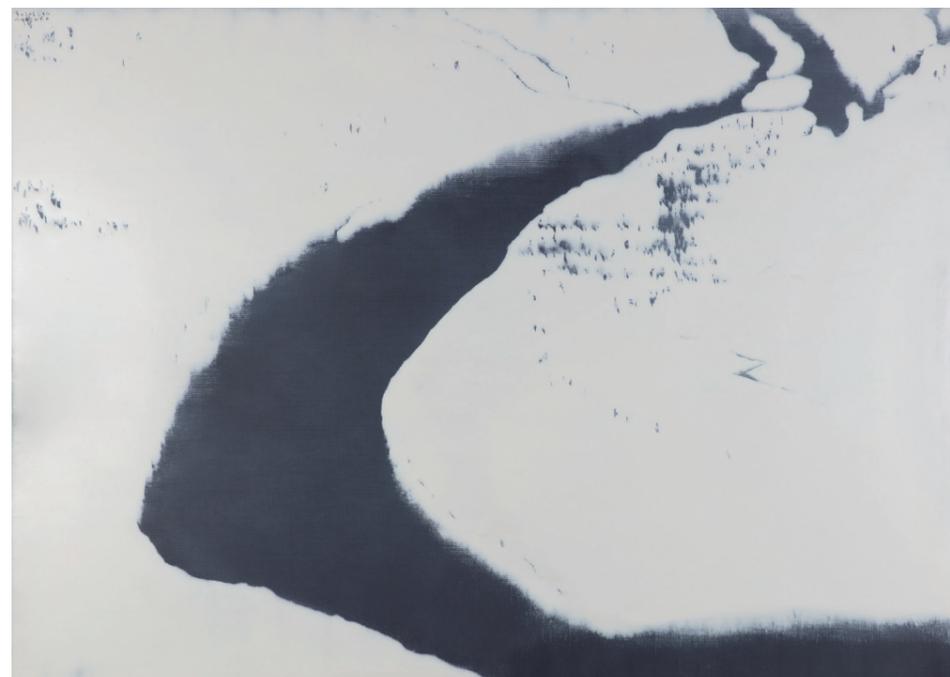
●日時=3月26日(日)午前11時 ●会場=市美術館 ●内容=中村眞美子さんによる、自身の展示作品についての話 ●定員=先着15人

ワークショップ「風景って何だろう？」

●日時=3月26日午後1時~4時 ●会場=南公民館 ●内容=中村眞美子さんを講師に、風景写真を元に、黒一色で絵を描く ●定員=先着10人 ●その他=小学3年生以下は保護者同伴

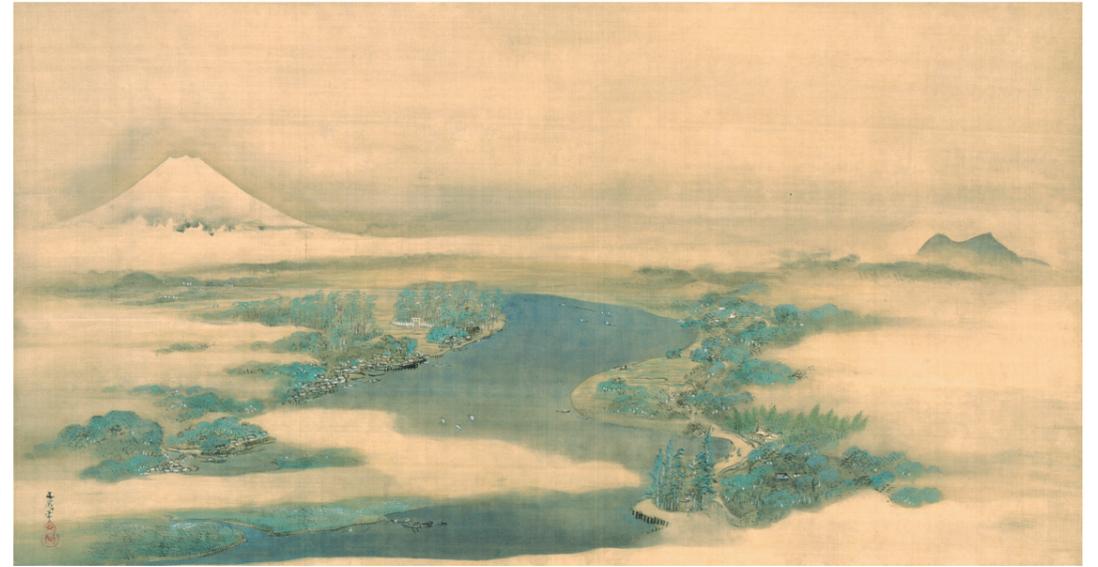


市ホームページ▶

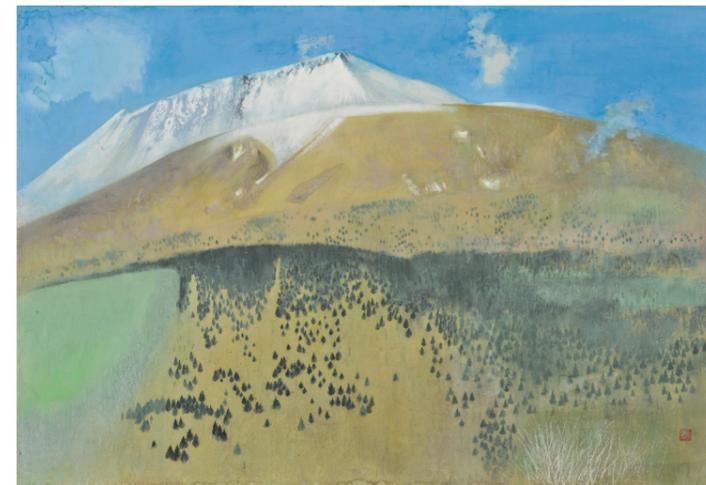


〈信濃川・卯の木A〉1984年
南魚沼市トミオカホワイト美術館蔵

白い世界を観る。
白と黒の大自然を無心に観る。



谷文晁〈隅田川兩岸図〉江戸時代 群馬県立近代美術館蔵



田中青坪〈浅間高原(5)〉1980年 アーツ前橋蔵

表情豊かな日本の山々

山

市タワー美術館企画展

■会期 2月4日(土)~3月21日(祝)
■会場 市タワー美術館 (☎027-330-3773)

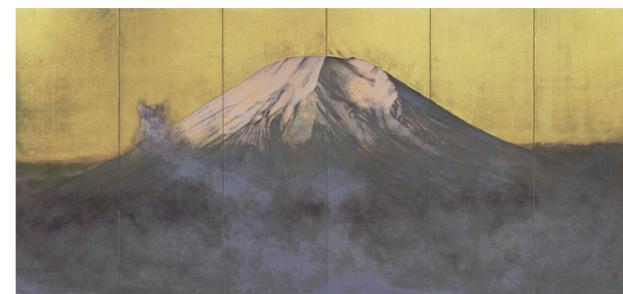
市タワー美術館は、日本の山をテーマにした企画展「山々」を企画しました。国土の大部分を山間部が占める日本。全国各地に、古くから信仰の対象とされてきたり、地域のシンボルとして親しまれてきたりした山が存在します。中でも最高峰の富士山は、日本人にとって特別な山。特に冠雪した姿は、富士の典型的な姿として時代を超えて愛され、数多く描かれてきました。

本展では、富士山や群馬にゆかりの深い上毛三山など、各地の名山を描いた日本画53点を展示。日本の山々の豊かな表情をお楽しみください。

2月4日(土)・19日(日)・3月5日(日)・18日(土)の午後2時から、学芸員による作品解説会も行います。

美術館案内
●時間=午前10時~午後6時(金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで) ●休館日=月曜日、2月24日(金) ●観覧料=一般500円、高・大学生300円、65歳以上と中学生以下は無料

市ホームページ▶



松本哲男〈富嶽〉1992年 株式会社ヤマタネ蔵



高橋常雄〈春雪榛名山〉1987年 寄託作品